

瑞浪市化石博物館 第74回特別展

2010.
10.17~12.26

よみがえる

日本にほんの哺乳類ほにゅうるいたち



アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム)

瑞浪市からも下あごが産出

ビーバー

ワークショップ
「小さな化石モンスター
を見つけよう」

11月21日(日) 13時~16時

ネズミ大の哺乳類化石のピックアップ体験です。

事前申込制 詳しくは瑞浪市化石博物館のHPをご覧ください。
下記へお問い合わせください。



たち

瑞浪市化石博物館別館・特別展示室

〒509-6132 岐阜県瑞浪市明世町山野内1-13 TEL (0572) 68-7710

休館日：毎週月曜日(月曜が祝祭日の場合はその翌日)



日本の哺乳類の歴史

哺乳類の化石はこれまでも、日本の各地から見つかっています。古いものでは恐竜が生きていた中生代白亜紀の化石です。この時代の哺乳類はネズミくらいの大きさで、あまり種類は多くありませんでした。

約6500万年前に恐竜が絶滅すると、それまで恐竜たちから隠れて生きてきた哺乳類が、新しい生活の場を求めて急増しました。これが哺乳類の時代(新生代)のはじまりです。

特に、2300万年前から530万年前にかけての中新世の地層からは、非常に多くの哺乳類化石が見つかっています。瑞浪市周辺からも多くの哺乳類化石が見つかっており、デスマスチルスをはじめ、ゾウやサイ、ビーバー、シカ、ウサギ、バクなどたくさんの哺乳類が住んでいたことがわかっています。

氷河時代としても知られる更新世(260~1.2万年前)の地層からもたくさんの哺乳類化石が見つかっています。この時代になると、現在生きている動物たちも現われますが、中には絶滅したナウマンゾウやハタネズミ類も含まれており、今私たちが見かける動物たちの世界へと変わっていききました。

かんしんせい 現在

完新世

こうしんせい

更新世



260万年前

せんしんせい 鮮新世



第三紀 新生代

中新世

瑞浪層群の時代

2300万年前



2300万年前

古第三紀 始新世

始新世



新生代 暁新世

6550万年前 恐竜の絶滅



中生代

古代の哺乳類たちを見てみましょう！→

みず なみ そう ぐん
瑞浪層群の哺乳類 ~前期中新世に生きていた哺乳動物~

ビーバー

瑞浪層群からは多くのビーバーの化石が見つかっています。そのうちの1種類は中国でも見つかっているヤングファイバーという全長1m以上の大型の種類です。この時代のビーバーは泳ぐのが苦手なようで、水の近くよりは草原に住んでいました。



ヤングファイバー (切歯)
 ぎふけんときし せつし
 岐阜県土岐市 前期中新世

ビーバーの仲間 (上あご・切歯)
 岐阜県かに せつし
 岐阜県可児市 前期中新世

ゾウ

この時代のゾウは小型で全長3m前後のものが多いです。もっとも多く住んでいたのはアンネクテンスゾウで、上あごにも下あごにもキバがあります。瑞浪市周辺では御嵩町から見つかり、これが日本で一番保存のよいものです。下あご先にキバがある



アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム)
 岐阜県御嵩町 前期中新世



ハシバミやノイバラの仲間の低木

アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム)

前期中新世の瑞浪市周辺の風景 ・コナラやフウ、メタセ
 ・草むらには大きなビー

シカ

中新世のシカの仲間は小型のものも多く、瑞浪市から見つかっているものも全長1mに満たない小さなものばかりです。



マメジカ (骨盤)
岐阜県瑞浪市 前期中新世



シカの仲間 (臼歯)
岐阜県可児市 前期中新世

サイ

サイの化石は可児市から最初に見つかりました。場所から名前をとり「カニサイ」の名前が付いています。今のサイとことなり、頭には角がなかったと考えられています。



サイの仲間 (下あご)
岐阜県可児市 前期中新世

ナキウサギ

今の日本では高山に住む珍しいウサギです。この時代の種類は、草原や海辺にも住んでいたようです。2008年、瑞浪市内の野外学習地から下アゴが見つかりました。国内初の完全なナキウサギの下あご化石です。



ナキウサギの仲間 <左>下あご<右>復元画
岐阜県瑞浪市 前期中新世

その他の哺乳類

ウマやバク、ネズミ、クマなどの陸に住む哺乳類の他に、海にすむデスモスチルスやアシカ、クジラ、イルカの化石も多く見つかりしています。

コナラ、メタセコイア、フウなど落葉広葉樹を主体とする林

水辺の林：ハンノキ、ヤナギの仲間

水辺の草：トクサ、カヤツリグサの仲間
また、水草としてコウホネやハスが生息

大型のビーバー

川：アミアなどの魚が生息

イネの仲間の草本

コイアなど落葉広葉樹を主体とする森林が広がり、川のほとりには草原が広がっていました。ビーバーが、森の中や草原にはゾウやシカが生息していました。

更新世～完新世の哺乳類

～260万年前から数千年前に生きていた哺乳動物～

猿田洞の哺乳類化石

2009年～2010年に行った調査によって、高知県高岡郡日高村にある猿田洞から非常にたくさんの

哺乳類化石が見つかりました。特に、小さな動物の化石が多く含まれており、四国では絶滅したとされているハタネズミや、ニホンムカシハタネズミ、オコジョなども見つっています。現在もまだ調査が進められており、近い将来、四国に住んでいた哺乳類の進化の歴史に新たなストーリーが書き加えられるかもしれません。



ニホンムカシハタネズミ
(大臼歯)



タヌキ (下あご)



ニホンジカ (上あご)



ネズミの仲間
(上あごの切歯)



ネズミの仲間
(下あごの切歯)



オコジョ (臼歯)



ニホンジネズミ
(頭骨)



アカネズミ
(下あご)

琉球列島の哺乳類化石

琉球列島(沖縄周辺)の島々(宮古島や石垣島、与那国島)の洞窟からは、絶滅したシカ類や、

ケナガネズミの化石が見つっています。琉球列島は中国・台湾と日本の中間にあり、両者の哺乳類の進化を考える上で重要な場所です。



ジャコウネズミ (下あご)
石垣島 更新世



ケナガネズミ (下あご)
宮古島 更新世



シカの種類 (臼歯)
石垣島 更新世



リュウキュウイノシシ
(上あご)
沖縄本島 更新世

谷下地域の哺乳類化石

静岡県谷下地域は有名な哺乳類化石の産地で岩の割れ目から多くの化石が見つっています。

時代は更新世末期(2万年前)とされており、シカの仲間をはじめ本州では絶滅したヒグマやニホンモグラジネズミなどが見つっています。



ニホンムカシジカ
(下あご)



ニホンモグラジネズミ
(下あご)



トラ
(臼歯)



イタチ
(下あご)

サルの化石～ヒトに近い哺乳動物～

京都大学^{れいちようらい}霊長類研究所では主にサルの化石の研究を行っています。なかでもニホンザルの化石は、全国200か所以上の場所からたくさん見つかっています。化石の形をよ～く見ると今いるニホンザルと昔いたニホンザルの違いを発見することもできます。



ニホンザル（頭骨）
山口県 後期更新世

スペシャル コラム 哺乳類化石を追い求めて ～哺乳類化石を求めて地底の彼方へ～

日本の約260万年前～数千年前の^{たいせきぶつ}堆積物からは非常に多く哺乳類化石が見つかっています。この時代の哺乳類化石は、主に^{どうくつ}洞窟内に見られる、岩と岩のすき間にたまった土から発見されます。

そこで、私たちは哺乳類の化石を探すために、まず洞窟の調査を行います。ヘルメットにライトをつけ、シャベルやハンマーを持って洞窟の中へ入っていく姿はまるで、^{たんけんか}探検家です。



洞窟内の化石の中には既に絶滅したナウマンゾウやニホンムカシハタネズミが含まれていることもあり、昔の動物たちが生きていた世界の謎を解き明かしていくことが私たちの役目なのです。

土の中に含まれている化石を取り出すためには、“ふるい”を使って土を洗い、残った土から小さいもので数mm以下の化石を取り出します。これは非常に大変な作業で、ガマン強さはもちろんのこと骨を愛する強い心がなければできません。この特別展期間中にも11月21日午後1時から4時に、小さな化石を見つける体験ができますので、是非参加してみてください。（西岡佑一郎）



みずなみ ミ オ
スペシャル企画 ～瑞浪Mioちゃん～

瑞浪Mioちゃんは、瑞浪市の^{ぶんか}文化の啓発キャラクター、そして化石博物館のイメージキャラクターとしてこの秋に誕生しました。瑞浪市に住む化石が大好きな女の子です。化石の楽しさや瑞浪市の文化を伝えたり、イベントの告知をしたりを博物館だけでなく皆のアイドルとして萌キャラとして頑張っています。よろしくね！

【古哺乳類イラスト】中上野 太 HP: <http://offcgssp.exblog.jp/>
企画：西岡佑一郎（京都大学霊長類研究所）
リーフレット作成：西岡佑一郎、萩野慎太郎（京都大学霊長類研究所）、安藤佑介（瑞浪市化石博物館）
展示協力：伊藤 毅、井上智恵、大島彩乃、大平規子、岡田 渉、楓 達也、合田隆久、小林伸明、田中雄一郎、服部創紀